

JAL被解雇者労働組合（JAL 争議団）

info@jhu-wing.main.jp<https://jhu-wing.main.jp/>

8/21「JAL 不当解雇撤回闘争支援東京連絡会」全体会議報告

解決に向け東京連絡会に **結集を!**

5月14日に結成したJAL不当解雇撤回闘争支援東京連絡会（略称「東京連絡会」）は、8月21日、新橋生涯学習センターにおいて全体会議を行いました。JAL被解雇者労働組合の代理人である岡田尚弁護士による「JAL闘争の現局面と展望」について講演があり、その後、解決に向け「東京連絡会」に結集し運動を拡げていくことが確認されました。最後に争議団から決意表明と団結頑張ろうで閉会しました。

団交拒否や中立保持義務違反だけでは全体の解決にならない。争議全体を解決する為に「優先雇用事件」の申立をした。会社からの答弁書は「被解雇者を差別はしていない」というだけで全く反論になっていない。再雇用しないことが不当労働行為意思の現れだ。

都労委での「あっせん」は解決の舞台として選んだ。だが「あっせん」の小さな舞台だけでは解決しない。運動をどんどんやらないと解決しない。（抜粋）



優先雇用事件は全体解決のため!

岡田尚弁護士



争議団の決意表明



都労委のあっせんの中でもJALは真摯に向き合う姿勢を見せておらず、超党派国会議員による公開質問状に対しても裁判で決着済みだとしてもまともに答えない。こうした無責任な態度は安全を担う公共交通機関として許されるものではない。ベテラン労働者の解雇は、自由にものが言える職場を奪い、退職者が後を絶たず安全にも大きく影響する。一つ一つの行動を成功させ、納得のいく解決まで諦めずに奮闘する。